

取扱説明書

実体顕微鏡変倍式 TXT-2040

この度は、実体顕微鏡変倍式TXT-2040をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用に際し、本説明書を最後までお読みいただき、正しい使い方でも長く御愛用くださいますようお願い申し上げます。

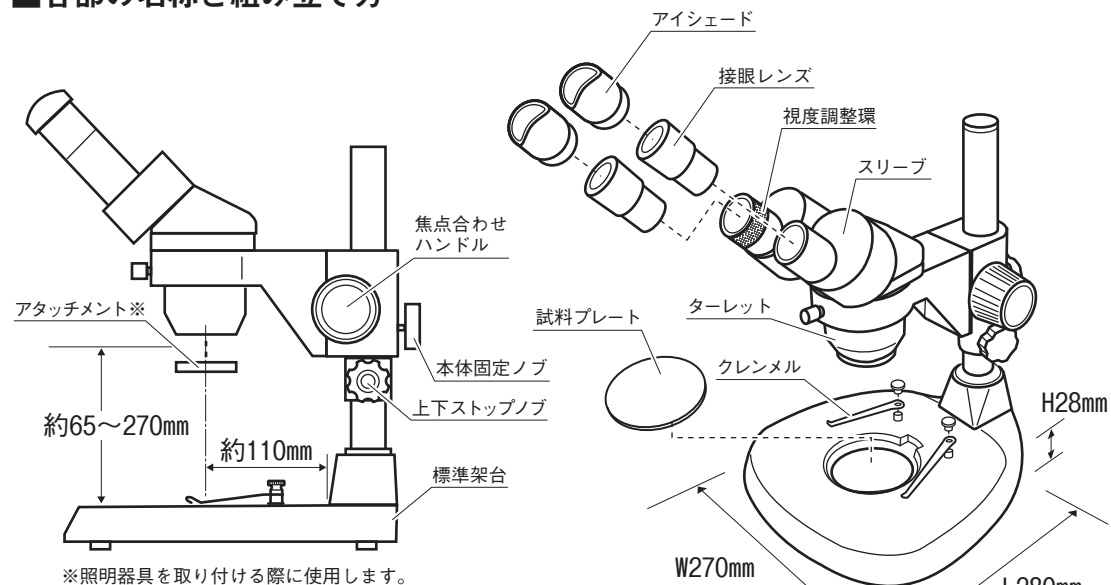
■ご使用にあたって

- ①本器は精密機器ですので、操作中や持ち運びのときに、本体への衝撃や過大な圧力を加えないように取り扱いには、十分注意をしてください。
- ②振動の多い場所、直射日光のあたる場所やほこりの多い場所、高温になる場所は避け、温度変化および湿気の少ないところを選んでください。
- ③レンズ面に汚れ、指紋などをつけないようご注意ください。
- ④レンズ類の清掃は、レンズ専用布やガーゼで軽く拭く程度にしてください。
- ⑤左右の焦点合わせハンドルを互いに逆方向にねじりますと、故障の原因となりますので、避けてください。
- ⑥使用しないときは本器に付属専用カバーなどをし、湿気が少なく、カビが発生しにくい場所に保管してください。

■仕様

総合倍率	20X・40X
対物レンズ	2X・4X（ターレット式）
接眼レンズ	WF10X（視野数19mm）
作動距離	105mm
接眼部傾斜角	45°
焦点調整	鏡体上下動式
スタンド	ポールスタンド方式
試料プレート	φ95黒／白アクリル板
眼幅調整範囲	55～75mm
視度調整範囲	±5ディオプター
ベース	L280×W270×H28mm
質量	約4.1kg

■各部の名称と組み立て方



■使用方法

試料のセット

- ①試料を試料プレートの中央にセットします。
- ②試料を必要に応じ、クレンメルで押さええます。

眼幅調整

左右の手で左右のスリーブを持ち、接眼レンズを覗き、左右の視野が一致するようにスリーブを調整します。

アイシェード使用

- メガネをしない場合：視度調整環が回転しないように手で押さえ、接眼レンズを回し、アイシェードの向きを観察者の顔に合わせ、眼を近づけて観察します。
- メガネ使用の場合：アイシェードを外して観察します。

ピント調整 視度調整

- ①右側の接眼レンズを右目で覗きながら、焦点合わせハンドルを回して試料にピントを合わせます。
- ②左側の接眼レンズを左目で覗いて視度調整環を回し、試料にピントを合わせます。
- ③必要に応じ、ターレットを回転させ倍率を変え、観察してください。
ワンタッチで対物レンズの倍率を変えることができます。